

臨床研修における中断・未修了について

1 旧制度における事例

- ・ 2年の研修期間の途中で研修を中止した事例
- ・ 概ね頻度の高いと思われるものから順番に記載。

(1) 修了期間を待たずしての就職（病院常勤医等）・進学（大学院等）

例：2年間の研修修了予定日が4月30日であったが、4月1日付で他院への就職または大学院入学

(2) 精神的な問題：精神疾患を含む

例：出勤不能となった

(3) 他の臨床研修プログラムへの変更

例：内科の過密ローテーションについて行けず皮膚科ストレート研修に変更

(4) 臨床医としての適性の問題

例：臨床医として不向きであるとして研修を中止した。その研修医は自分で他の研修病院に移った。

例：市中の病院でうまくいかず、依頼元の大学医局に戻した。

(5) 妊娠・出産・育児

(6) 研修継続を困難とするような傷病（精神以外）

例：交通事故による大腿骨複雑骨折

(7) 進路変更（基礎医学系等への転向）

例：患者との人間関係がどうしても築けず、病理へ転向した。

(8) 海外留学

(9) 配偶者の都合（例：転勤、病気など）

(10) 結婚による退職

(11) 死亡（交通事故等）

(12) 自己都合（理由不明）

2 医師としての適性を欠くと考えられる事例

(1) 社会性の欠如又は医療現場に不相応

- ・ 医療安全の確保ができない
- ・ 患者及びその家族とのコミュニケーションがとれない
- ・ プライバシーへの配慮ができない
- ・ 職場での人間関係が築けない（協調性がない）
- ・ 遅刻、無断欠勤の常習

(2) 法令・規則が遵守できない

- ・ 犯罪行為（わいせつ、麻薬等）
- ・ 院内での迷惑行為

(3) 重大な傷病の罹患

- ・ 長期にわたり治療に専念する必要がある疾病
- ・ 大怪我

3. 臨床研修実施病院アンケート

新制度における中断・受入事例に関する回答状況（17.4.1現在 暫定集計）

【集計結果】

区 分	研修の中断事例		中断者の 受入事例
	申出	勧告	
臨床研修病院	24	1	18
大学病院	29	0	15
合 計	53	1	33

【研修の中断:研修医からの申し出】

	病気	本人又は家 庭の事情	研修内容 に不満	進路変更	妊娠・出産 ・育児	その他	不明	合計
臨床研修病院	8	5	3	0	2	3	3	24
大学病院	6	7	4	3	1	2	6	29
計	14	12	7	3	3	5	9	53

【研修の中断:病院からの勧告】

臨床研修病院: 1